

AUD / JPY 豪ドル円 月次レポート

前月振り返りと2026年9月の相場展望

発行日

September 1, 2026

対象期間

8月実績 / 9月展望

通貨ペア

AUD / JPY

発行頻度

Monthly

8月末レート（終値）

114.470

+3.26%（8月月間騰落率）

8月高値

114.956

8月安値

109.232

RBA金利

4.35%

BOJ金利

1.00%

今月のハイライト

8月は110.86円からスタートし114.96円まで上昇し、114.47円で引け、月間+3.26%となった。本レポートで取り上げる5通貨ペアの中では月間上昇率が最大となった

RBAは8/10-11会合で4.35%を全会一致で据え置き（2会合連続）。Bullock総裁は利上げを排除せず、インフレ次第で追加引き締めの可能性を示した

日銀は8月に会合がなく、政策金利は1.00%で継続。8/27に氷見野副総裁が9月会合を含む毎回の会合で利上げを検討していく旨を述べたが、豪ドル円の上昇を抑えるには至らなかった

RBAが利上げを排除しなかったことや、リスクセンチメントの改善が豪ドルを下支えし、豪日金利差（3.35pp）の大きさもプラスに作用したとみられる

9月 基本シナリオ レンジ

111 - 118円

RBAは9/28-29に会合。日銀は9/17-18に会合。豪ドル高基調が続くが注目

豪日政策金利差

3.35pp

RBA4.35% - BOJ1.00%。前月と同水準

始値

110.858

8月最初の取引日

高値

114.956

月中最高値

安値

109.232

月中最安値

月間騰落

+3.26%

+3.612円

8月の相場動向

8月の豪ドル円は110.86円でスタートし、109.23円まで下落する局面を挟みながらも、その後は値を戻した。8/10-11のRBA会合で4.35%が全会一致で据え置かれたが、Bullock総裁が利上げを排除しない姿勢を示したことや、追加引き締めの可能性を示したことが豪ドルを下支えしたとみられる。リスクセンチメントの改善や豪日金利差（3.35pp）の大きさも支えとなり、最終的に114.47円で引け、月間+3.26%と本レポートで取り上げる5通貨ペアの中では最大の上昇率となった。

主要イベントの影響

AU RBA 8月10～11日 据え置き

4.35%を全会一致で据え置き（2会合連続の据え置き）

Bullock総裁は利上げを排除せず。インフレは依然高く、追加利上げの可能性を残す姿勢

次回会合は9/28-29に予定されている

JP 日銀 / 8月は会合なし・要人発言

8月は金融政策決定会合が開催されなかった（8月は年間スケジュール上の会合月ではない）

8月27日、氷見野副総裁は埼玉県での講演・記者会見で、物価の上振れリスクをこれまで以上に意識する必要があるとし、9月会合を含め毎回の会合で利上げについてしっかり検討していくと述べた

現行の政策金利（無担保コール翌日物レートの誘導目標）は1.00%で継続。次回会合は9/17-18

8月の総括

8月はRBAが全会一致で据え置きを決めたものの、利上げを排除しない姿勢を示したことが豪ドルを支えた。リスクセンチメントの改善も追い風となり、豪ドル円は月間+3.26%と本レポートで取り上げる5通貨ペアの中では最大の上昇率となった。豪日金利差は3.35ppと大きく、下値は限定的だった。9月は日銀会合（9/17-18）とRBA会合（9/28-29）が控え、両中銀の動向が方向性を見極める材料となりうる。

9月の注目ポイント

9月は①**日銀会合（9/17-18）**と②**RBA会合（9/28-29）**が控える。日銀が追加利上げに踏み切れば円高要因となる一方、RBAが利上げに踏み切れば豪ドル高要因となり、方向感が変わる可能性がある。中国の景気動向や商品市況の動向も、資源国通貨としての豪ドルに影響を与えやすい。

シナリオ別レンジ予測

 強気	30%	RBAが追加利上げ、または豪州指標好調でリスク選好	115 – 120円
 基本	50%	RBA・日銀ともに市場予想の範囲内でレンジ推移	111 – 118円
 弱気	20%	日銀が追加利上げ、または商品市況下落で豪ドル安	107 – 114円

リスク要因

リスク要因	確率	方向	概要・影響
日銀の9月追加利上げ（9/17-18）	中	円高	1.25%への利上げなら金利差縮小を意識した円買いが強まりやすい
RBAの追加利上げ（9/28-29）	中	豪ドル高	インフレ高止まりで利上げが実施されれば豪ドル高要因となりうる
商品市況・原油の下落	中	豪ドル安	資源国通貨として商品安は豪ドルの重し。リスク回避局面では下落が加速しやすい
中国景気の下振れ	中	豪ドル安	最大の貿易相手国である中国の減速は豪ドルの重しとなりやすい

9月の見通し

基本シナリオは**111～118円のレンジ**とみている。豪日金利差は3.35ppと大きく下値は限定的との見方があるが、9月の日銀利上げ観測が強まれば円高圧力が生じやすい。RBAの追加引き締め余地も残っており、両中銀の会合を前に値動きが大きくなる可能性にも留意したい。

用語解説

RBA（豪準備銀行）

オーストラリアの中央銀行。8/10-11に4.35%を全会一致で据え置き。利上げを排除せず。次回9/28-29。

クロス円

米ドルを介さない円と他通貨の交換レートの総称。豪ドル円はドル円と豪ドル米ドルの動きに影響を受けやすい。

政策金利 / 金利差

中央銀行が設定する基準金利。RBA4.35%とBOJ1.00%の差は3.35pp。

日銀（BOJ）

日本銀行の略称。8月は会合なし。氷見野副総裁は9月会合を含む毎回の会合で利上げを検討する旨を述べた。次回9/17-18。

資源国通貨

鉄鉱石や石炭など資源輸出の比率が高い国の通貨。豪ドルは商品市況や中国の景気動向の影響を受けやすい。

キャリートレード / 巻き戻し

低金利通貨（円）で高金利通貨を運用し金利差収益を狙う取引。リスク回避時の一斉解消は円高要因となりやすい。

免責事項

- 本情報は、AI（Anthropic社が提供するClaude）（以下、情報提供者）が作成し、GMOあおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）がお客さまに提供いたしますが、当社および情報提供者が参照した情報およびそれに基づく情報提供者の見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。
- 本情報は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本情報で言及した通貨や投資戦略は、投資に関する経験や知識、経済状況および投資目的が異なるすべてのお客さまに、一律に適合するとは限りません。
- 投資判断の最終決定は、お客さまご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 本情報に記載された内容は、公開時においては最新の情報でない可能性があります。
- 本情報に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、当社および情報提供者は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 著作権等：本情報に係る著作権その他の知的財産権は、別段の表示がない限り、当社に帰属するものとします。